

堺市東区政策会議 取組報告（第 1 期）（案）

はじめに

令和 3 年 6 月、東区では、「堺市区政策会議に関する条例」に基づき、区民等の意見を反映しつつ、区の実情や特性に応じた政策形成を進め、特色ある区行政の実現を図るため、東区の政策立案を、区民参画のもと進めていく仕組みとして新たに東区政策会議が設置された。当会議では「堺市東区みんなで育むわがまちビジョン」の推進に向けた実践と行動に取り組むにあたり、基本方針の一つである「歴史・文化をつむぎ、育むまち」に着目し、「東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承」を取組案件とした。取組の展開にあたり、テーマ別会議（プラットフォーム）を設置し、各々で議論を進め、企画を提案し、会議構成員に加え、行政、市民、団体・事業者等の協働のもと、地域の魅力向上や課題解決に向けての取組を実践した。

今般、これまでの取組内容をまとめ、報告するものとする。

令和 5 年●月
堺市東区政策会議
座長 池崎 守

1. 会議等開催経過

○東区政策会議

年月日	回	主な議論テーマ
令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年度第 1 回	・座長の選出について ・令和 3 年度から取り組む事案について ・テーマ別会議について
令和 4 年 3 月 29 日 （書面開催）	令和 3 年度第 2 回	・各テーマ別会議の進捗状況について ・テーマ別会議活動メンバー募集について
令和 4 年 5 月 16 日	令和 4 年度第 1 回	・各テーマ別会議の進捗状況について ・今後のスケジュールについて ・テーマ別会議活動メンバー募集について
令和 4 年 8 月 24 日	令和 4 年度第 2 回	・各テーマ別会議の進捗状況について ・今後の事業スケジュールについて
令和 5 年 3 月 20 日	令和 4 年度第 3 回	・取組について（総括） ・次期区政策会議について

○テーマ別会議「ひがし文活」

年月日	回	主な議論テーマ
令和 3 年 10 月 13 日	令和 3 年度第 1 回	検討事項について

令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年度第 2 回	「ひがし文活」の取組の方向性について
令和 4 年 3 月 16 日	令和 3 年度第 3 回	・「ひがし文活」の取組について ・テーマ別会議活動メンバー募集について
令和 4 年 4 月 25 日	令和 4 年度第 1 回	(仮称) 子ども絵画展示事業について
令和 4 年 12 月 19 日	令和 4 年度第 2 回	子ども絵画展示事業について

○テーマ別会議「ひがし歴活」

年月日	回	主な議論テーマ
令和 3 年 10 月 13 日	令和 3 年度第 1 回	検討事項について
令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年度第 2 回	「ひがし歴活」の取組の方向性について
令和 4 年 3 月 23 日	令和 3 年度第 3 回	・「ひがし歴活」の取組について ・テーマ別会議活動メンバー募集について
令和 4 年 4 月 28 日	令和 4 年度第 1 回	・親子で育むわがまちツアー事業について ・「(仮称) 東区歴史かるた」作成について
令和 4 年 6 月 13 日	令和 4 年度第 2 回	親子で育むわがまちツアー事業について
令和 4 年 7 月 27 日	令和 4 年度第 3 回	・親子で育むわがまちツアー事業について ・(仮称) 東区かるた事業の方向性について
令和 4 年 10 月 13 日	令和 4 年度第 4 回	・親子で育むわがまちツアー事業について
令和 4 年 12 月 19 日	令和 4 年度第 5 回	・親子で育むわがまちツアー事業について ・東区かるた事業について

2. 第 1 期 取組案件

東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承

3. 取組事業

○ひがし文活関係

事業名	子ども絵画展示事業
実施目的	次世代を担う子どもたちの絵画作品を南海高野線の駅構内をはじめ区域内で展示することで、区民が身近に芸術・文化に触れる機会を創出し、区内の文化意識の向上及び文化活動の促進を図る。
実施内容	・区内在住の小学生を対象に「わたしたちのまち」をテーマにした絵画作品の公募を実施（応募作品 167 点）。 ・南海電気鉄道株式会社の協力のもと、応募作品を東区内の駅（北野田駅・萩原天神駅・初芝駅・白鷺駅）に展示。（※） ・駅での展示後、東区役所内で展示するとともに、東区 HP に絵画ギャラリーを設置。（※） ※駅・区役所では月替わりに展示替えを実施。

実施経過	令和 4 年 6～8 月	絵画公募を実施
	令和 4 年 10～11 月	東区内の 4 駅で応募作品を展示
	令和 5 年 1～3 月	東区役所内で応募作品を展示
	令和 5 年 1 月～	東区 HP に絵画ギャラリーを設置し、応募作品を公開

また、ひがし文活での議論をきっかけに以下の取組を実施。

- ・区域内で芸術・文化を気軽に体験・発表できる機会の充実に向けて取り組むため、共通のスローガン「文化あふれるまち 東区 ～文化で結ぶ まち・ひと・こころ～」を設定。
- ・ひがしふれあい文化祭で書家・金澤翔子さんの席上揮毫（書道パフォーマンス）を実施。

○ひがし歴活関係

事業名	親子で育むわがまちツアー事業
実施目的	次世代を担う子どもを主な対象としてウォーキングツアーを実施し、郷土にある歴史的魅力を再確認してもらうことで、子どもたちの世代に郷土への愛着が広がるきっかけとする。
実施内容	・区内在住の子どもとその保護者を対象とした、区内の歴史スポットを巡るウォーキングツアーを実施（子ども 3 名を含む 7 名参加）。 ・ツアー企画、コース検討、当日の運営（引率、安全管理）を区政策会議構成員により実施。 ・ツアー中、区政策会議構成員（校区代表者）、地元有識者並びに惟妙寺、浅田家、出雲大社大阪分祠及び萩原神社の協力により、以下の地点でスポット解説を実施。 野田城址、伊勢道・文化村、大美野住宅、西高野街道（下出口⇒惟妙寺⇒浅田家⇒関茶屋）、出雲大社大阪分祠・御旅所、萩原神社 ・昼食会場は登美丘西校区連合自治会の協力により同校区地域会館を利用。
実施経過	令和 4 年 6 月 7 日 ひがし歴活構成員によるプレツアーを実施 令和 4 年 11 月 20 日 ツアーを実施

事業名	東区かるた事業
実施目的	次世代を担う子どもたちが、東区の歴史的・文化的魅力に触れることができるよう、世代を通じて遊べる「東区かるた」を作成する。
実施内容	・かるた読み句を公募によって区民等から募集（応募作品 591 点）。 ・自治会、小学校、図書館、東文化会館の協力により公募を周知。 ・地域住民、事業者、庁内部署等の協力により、絵札に使用する写真を収集。 ・区政策会議構成員によって読み句を選定。 ・読み札・絵札の原案を作成。
実施経過	令和 4 年 9 月 読み句公募を実施・各小学校に協力要請 令和 5 年 1 月 読み句選定を実施

4. 総括

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で活動が制限される局面もあったが、感染状況を考慮し、感染対策を図りながら、対面による会議を中心に、区政策会議を5回（うち書面会議1回）、ひがし文活を5回、ひがし歴活を8回、それぞれ開催した。

また、テーマ別会議活動メンバーの公募も実施され、「ひがし文活」「ひがし歴活」それぞれに1名ずつ応募があったが、「ひがし文活」については就任に至らなかった。

取組案件である「東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承」に係る事業について幅広く議論し、社会活動の段階的再開にあわせて、会議構成員、行政、市民、団体・事業者等の協働のもと、上記3事業を実施した。子ども絵画展示事業及び親子で育むわがまちツアー事業については、それぞれ絵画を展示、ツアーを催行した。東区かるた事業については読み札・絵札の原案を作成する段階まで事業を進めた。

○子ども絵画展示事業について（主な構成員意見）

- ・区内の公立小学校に事業説明を行ったが、学校によっては説明内容の認識に違いがあったことから、今後は更に丁寧な説明を行うべきである。
- ・駅以外でも各地域や市の施設で展示できれば良いと思う。
- ・自分の絵が展示されたというのは、私の経験では今も思い出になっている。子どもたちにもおそろくいい思い出になるので続けていければと思う。
- ・東区長のツイッターを美原の方がご覧になって、いい取組なので美原区でも実施したらよいのにとコメントしていた。いろんな方に知ってもらっているのだなと思った。
- ・白鷺駅での展示枚数が3枚というのが残念だったなと思った。
- ・駅によって展示場所が見えにくいところがあるのが少し気になった。
- ・たくさんの方の目に触れるということでは、駅での展示は良かった。継続してほしい。
- ・今東区で取り組んでいることに枝を伸ばすような取組という考え方もある。毎年同じ内容でなく変えていくことで事業として継続するのではないかな。

○親子で育むわがまちツアー事業について（主な構成員・参加者意見）

- ・歩いてみて、改めて東区の良さを感じた。
- ・一緒に歩いた方々とも例えば「自分の地域はこんなんだ」など会話が進んだのも良かった。
- ・（小学生を対象としたことを踏まえると）歩く距離が長かった。
- ・参加者数は、移動や解説状況を考えるとこれで良かったかなと思う。
- ・もう少し子どもが楽しめるようなツアーの方がいい。
- ・（今後、同じような催しがあったら参加したいと思いますかとの設問に対し）
ややそう思う（1件） どちらでもない（1件）
- ・（今後まち歩きのカニがあるとしたら、どのような形式が望ましいですかとの設問に対し）
引率形式（1件）、スタンプラリー・クイズラリー形式（2件）

○東区かるた事業について（主な構成員意見）

- ・子どもたちには、東区の歴史に親しんでもらう、またそのきっかけづくりのためにかるたで表していることを知ってもらうことが目標。
- ・かるたによって地域の歴史や名所など誇れるところに興味を持ってもらえると思う。
- ・学校に配付していただきたい。
- ・各校区の子ども会でもカルタを遊んでもらい、区民まつりでトーナメント大会をしてもよいのでは。

5. 展望（案）

東区政策会議は、区民等の意見を反映しつつ、区の実情及び特性に応じた政策形成を進め、特色ある区行政の実現に資することを目的としており、今般、区民参画のもと、議論を踏まえた企画を提案し、地域と行政の協働による事業実施に至ったことから、当会議としては第1期の活動を通じて設置目的達成に向けての一定の基盤を築けたものとする。

また、今期は2つのテーマ別会議に分かれ議論したことから、各々のテーマに沿った議論が深まり、効率・効果的であったと考える。

第1期に展開した各事業については、上記のとおり継続実施に期待する意見があった。駅や区役所等の地域で多くの方が利用する空間に子どもたちの絵画作品が展示されたこと、ツアーを通じ子どもたちが地域の方々から歴史を学んだことは事業の成果であり、子どもたちを軸として文化の裾野が広がり、また歴史を発掘・継承する一歩を踏み出したことは意義あることである。

しかしながら、事業の周知方法や実施手法、新たな展開等について、更なる課題や検討事項も明らかになった。

これらを踏まえ、次期以降の政策会議では、東区の歴史・文化の更なる進展に寄与する取組を継続実施されたい。加えて、日々変わりゆく地域情勢を踏まえ、様々なテーマに着目した議論を展開し、企画・実践することで、地域と行政の協働による「堺市東区みんなで育むわがまちビジョン」の推進を図られたい。

○事業方針（案）

・子ども絵画展示事業

募集・展示内容や展示場所等について検討を行う。

・親子で育むわがまちツアー事業

令和4年度事業で探訪対象となっていない地域を中心とし、所要時間や距離等の適正化を図りながら、実施に向けた検討を行う。

・東区かるた事業

令和4年度事業で作成したかるた原案に基づき、かるたの製作、小学校・子ども会等への配布及び活用を進めていく。

・

堺市東区政策会議構成員名簿（任期：令和 3 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日）

校区	氏 名	役 職	テーマ別 会議
南八下校区	(職務代理) 山本 淳一	南八下校区自治連合会 会長	ひがし歴活
	金牧 かおり	南八下校区自治連合会 理事	ひがし歴活
八下西校区	高落 俊次	八下西校区連合自治会 会長	ひがし歴活
	坂井 茂子	八下西校区福祉委員長	ひがし歴活
日置荘校区	西野 巳佐夫	日置荘校区自治連合会 会長	ひがし文活
	城岡 キヌ子	東初芝町会 副会長	ひがし文活
日置荘西校区	鈴木 義規	日置荘西校区自治連合会 会長	ひがし文活
	福田 崇子	日置荘西校区連合婦人会 会長	ひがし文活
白鷺校区	小西 貢	白鷺校区連合自治会 会長代行	ひがし文活
	辻 有理	野尻子供会 会長	ひがし文活
登美丘西校区	川上 浩	登美丘西校区連合自治会 会長	ひがし歴活
	森田 法子	登美丘西校区 SDG s 推進委員長	ひがし歴活
登美丘東校区	正木 幸彦	登美丘東校区自治連合協議会 会計	ひがし文活
	林 聡子	堺市青少年指導員	ひがし文活
登美丘南校区	(座 長) 池崎 守	東区自治連合協議会 会長	ひがし文活
	渡士 晶子	NPO 法人さかい hill-front forum 副理事長	ひがし文活
野田校区	米田 眞利	野田校区連合自治会 会長	ひがし歴活
	北井 道子	野田校区母子寡婦福祉会 理事	ひがし歴活
—	高木 悠里※	大阪公立大学大学院工学研究科 都市系専攻 講師	—

【敬称略、校区順、役職は令和 3 年 6 月 1 日当時】

※高木氏については、令和 4 年 8 月 1 日就任

東区政策会議テーマ別会議活動メンバー（公募）

氏 名	テーマ別会議
稲谷 忠美	ひがし歴活